

国際連帯集会～全国労働者集会～改憲阻止！1万人大行進 報告

官民連帯・地域共闘と国際連帯で 戦争・改憲・労働法制解体を とめよう！

今年も東京行動に参加してきました。

十一月四日、支部九名で新大阪駅から新幹線で出発して、千葉に到着。午後一時から国際連帯集会在が千葉商工会議所ホールで行なわれました。

オープニングで全世界の闘いのビデオをみました。司会は動労千葉の北



嶋副委員長と内田しをりさんでした。開会の挨拶は、港合同執行委員で我が支部の木下委員長が行い「今日明日の闘いは戦争・改憲阻止の出発点だ。国際的な労働者の団結と闘いで阻止していこう」と力強い意気込みで訴えられました。

次に、主催者挨拶が動労千葉の田中委員長からあり「戦争を止めることは日本の労働者の特別な任務だ。韓国の労働者に銃を向けることは絶対にできない」「労働者の権利を奪い、団結を破壊する攻撃は戦争準備とひとつだ。この攻撃を打ち砕くひとつの力になるような



国際連帯をつくろう」と呼びかけられました。

「全世界の労働者の国際連帯の結晶」として開院したふくしま共同診療所の布施幸彦院長は、福島原発事故を無かったことにしようとする国に対して、「民主労総にならうて福島からの反乱で闘う労働組合をつくり、東京

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

オリンピックを粉砕し、憲法改悪・朝鮮戦争に向かう安倍を倒そう」と呼びかけていました。

来日した韓国・民主労総から、公務員労組ソウル本部のオ・ヒョングン社会公共性強化委員長の発言、大邱(テグ)の城西(ソンソ)工団労組からパク・ギホン副委員長の発言、アメリカからILWU(国際港湾倉庫労働組合)の労働者とともに来日した運輸労働者連帯委員会のステイブ・ゼルツァーさんの発言、六人で来日したドイツ機関士労組ベルリン都市鉄道支部のクルト・シュナイダー支部長の発言、等々

がありました。又、在日・滞日労働者の発言が続きました。

共謀罪の先取り攻撃である春闘弾圧と闘う関西合同労組阪神支部の木・ヨシホ支部長、広島連帯ユニオンから在日三世の女性労働者、ビルマの民主化活動家、動労水戸の石井真一委員長が被曝労働拒否と常磐線開通阻止の闘争を報告。

最後に全日建運輸連帯労組近畿地本の西山書記長がまとめを行い「労働者はひとつだ。連帯闘争で世の中を変えよう! トウシェン!」とシユプレヒコールをしてインターナショナルを歌って集会が

終わりました。

今回は交流会がなく、九名で宿泊するJRお茶の水駅近辺へ戻りました。五日は一〇時にチエックアウトして有楽町駅へ移動しました。その有楽町近辺で当日参加の西岡会計と合流して、支部の一〇名で日比谷野外音楽堂へ向かいました。その日は、トランプアメリカ大統領の来日の日で警察官二万人近い警備態勢で、あっちこっちで警察官がいました。

全国労働者総決起集会が正午から始まりました。労働者の力で社会を変えよう! 国際連帯で朝鮮戦争阻止・憲法九条改憲阻

止! 労働法制改悪阻止! のスローガンです。

動労千葉・関西生コン支部・港合同が全国に呼びかけて始まった集会は今年で二〇回目となります。先ず初めに、全国から集まった各労組・団体の旗の入場セレモニーと、二〇年の闘いの中で亡くなった同志たちの精神継



港合同旗を先頭に労組団体旗が入場

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!

承を誓い黙祷を捧げました。

開会のあいさつを全日建運輸連帯労組関西地区生コン支部の大原執行委員が力強く発言されていました。

続いて呼びかけ団体からの訴えを国鉄千葉動力車労働組合の田中委員長からありました。

次に国際連帯の訴えが韓国・米国・ドイツからの発言がありました。

そして国鉄闘争を闘う仲間から動労総連合として動労千葉、出向無効確認訴訟弁護団、動労水戸、動労東京、動労千葉争議団、一〇四七名協議会から発言がありました。



「働き方改革」・民営化との闘いを我が金属機械・港合同の中村委員長が発言しました。そして、各産別からの決意表明がありました。

今年の集会は二部構成で、後半は改憲阻止一万人大行進として、雰囲気を変え、各団体からの発言だけでなく、シンガー



ブルゾンちえみwithBネタで寸劇

ソングライターの川口真由美さんの歌や、律動、寸劇隊の力強いパフォーマンスもあり、とても盛り上がりました。

閉会のあいさつ・団結ガンバロー・インターナショナル斉唱で集会が終わりました。

午後三時三〇分からデモ出発予定でしたが四〇



分出発となりましたが、権力や右翼の妨害に負けず、東電前へ東京駅前を通り、銀座デモを貫徹してきました。

参加された組合員の皆さん、本当にご苦労さまでした。

昌一金属支部 ○

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！